

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4031538095		
法人名	社会福祉法人みらい		
事業所名	グループホームたんたん		
所在地	福岡県筑紫野市美咲1023番地2		
自己評価作成日	令和5年6月13日	評価結果確定日	令和5年10月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アール・ツーエス		
所在地	福岡市南区井尻4-2-1	TEL:092-589-5680	HP:https://www.r2s.co.jp
訪問調査日	令和5年6月30日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】(Altキー+enterで改行出来ます)

グループホームたんたんは、宝満川の真横にあり自然豊かな木々や花々、田畑が多く野鳥やカモが飛来してきます。静かな環境の中でのんびりした時間を送る事ができます。ご利用者様の長年暮らしてきた日常生活に合わせて日々を送れるよう「できること」を見つけ、職員と一緒にこなして頂きます。掃除や洗濯等の家事、レクや散歩を中心とした日常生活の何気ない「当たり前」を一緒にすることで、ご利用者様の不安や喪失感を感じることなく安心して生活して頂ける様に職員一同、「笑顔いっぱい優しさいっぱい」の精神で日々、取り組んでいます。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームたんたん」は平成30年4月に開設され、令和2年3月に新ユニットが開設、現在2ユニットからなる。母体法人は総合老人福祉施設を運営し、特養・地域密着型特養・小規模多機能・デイサービス・ケアプランセンター・各施設に併設されたクリニックがある。医療を含め総合的なサービスが提供できることで家族にも安心してもらっている。宝満川の雄大な景色を望み、リビングからは山並みと緑の畑が眼下に拡がり、心穏やかな時を過ごしている。地域との関係も良好で地域・事業所の祭り及び保育所・子ども会との交流も盛んに行われている。今年度は様子を見ながら行事に取り組んでいく。日常生活に合わせ、その方ができるように目を向け、職員と一緒に行動し、安心して生活できるよう「笑顔いっぱい優しさいっぱい」の気持ちで日々取り組んでいる。今後も地域を支える事業所として発展が大いに期待される。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
58 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	65 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
59 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	66 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
60 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
61 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:51)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:32,33)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	70 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
64 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己		項目	自己評価(うめ)	自己評価(さくら)	外部評価	
外部	実践状況		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を共有して実践につなげている。繰り返し会議等での項目に基づくものな話話し合ったり、理念や基本方針等に沿っているかを確認している。いつも確認できるように常に所持している。	理念を共有して実践につなげている。繰り返し会議等での項目に基づくものな話話し合ったり、理念や基本方針等に沿っているかを確認している。いつも確認できるように常に所持している。	理念は法人全体で共有しており「笑顔いっぱい優しさいっぱい」のスローガンを事業所内の各所に掲げている。笑顔と優しさがあふれ出るような字体から自然と意識したケアに繋がっている。理念をいつも確認できるように常に所持している。会議では、どの項目に基づくものな話、繰り返し話し合い、理念や基本方針に沿っているか確認し、実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	天気の良い日は川沿いを散歩に出かけ、すれ違う地域の方と挨拶をかわしたりしている。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、外出が出来ない時期があり、地域の行事なども開催されなかったことで交流の場が減っていたが、以前は地域の行事などにもご利用者と共に参加していた。	天気の良い日は川沿いを散歩に出かけ、すれ違う地域の方と挨拶をかわしたりしている。新型コロナウイルス感染拡大防止の為、外出が出来ない時期があり、地域の行事なども開催されなかったことで交流の場が減っていたが、以前は地域の行事などにもご利用者と共に参加していた。	天気の良い日には宝満川沿いを散歩し、地域の方と挨拶を交わしている。コロナ禍の中、地域との交流の場も少なくなっているが、隣保館との交流はあり、入居者を紹介されることもある。地域のこども会から手作りカレンダーをもらった。敷地内にバラ園があり、地域の方に開放している。クリニックの医師による地域に向けての健康教室又折り紙教室などは今は休んでいるが、今後活動も考えている。地域の夏まつりやカヌー大会への参加は予定しており、事業所で行われていた「たんたん祭り」などの開催も考えている。	コロナ禍の中、地域との方々との交流の場も減っていたが、今後様子を見ながら地域との交流の場を設けていくことを期待している。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為現在は実施していない。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為現在は実施していない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルス感染症拡大防止により現在は書面で報告書を作成し、各担当者に2ヶ月に1回郵送にて報告のみ実施している。令和5年5月より施設内にて再開した。今までできなかった分開催することで意見交換しサービス向上に努めている。	新型コロナウイルス感染症拡大防止により現在は書面で報告書を作成し、各担当者に2ヶ月に1回郵送にて報告のみ実施している。令和5年5月より施設内にて再開した。今までできなかった分開催することで意見交換しサービス向上に努めている。	コロナ禍の中書面での報告書を作成、郵送していたが、令和5年5月より開催し、高齢者支援課職員・美咲支部長・民生委員・地域包括支援センターの職員・グループホーム入居者と家族・特養入居者と家族・特養施設長・生活相談員・GH管理者・ケマネジャーなどの出席のもと行った。事業所の状況・行事計画、報告・研修・事故報告などを行い、出席者からの質問、要望などについて意見交換を行い、サービス向上に努めている。議事録は家族全員に送付している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険更新申請やおむつ給付の申請など、電話で意見を聞いたり、直接窓口に出向くなどしながら報告・相談をおこなっている。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、運営推進会議の開催についても、電話で相談するなど協力関係を築くよう努めている。支援2の方が初めてだった為契約やプラン等わからない所を尋ねた。	介護保険更新申請やおむつ給付の申請など、電話で意見を聞いたり、直接窓口に出向くなどしながら報告・相談をおこなっている。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、運営推進会議の開催についても、電話で相談するなど協力関係を築くよう努めている。	介護保険更新申請やおむつ給付の申請など直接窓口に出向いたり、電話で意見を聞くなど、報告・相談を行っている。要支援2の方の契約やプランの様式などわからない事を相談した。事業所の実情・ケアサービスの取り組みなどを積極的に伝え、協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内で身体拘束について勉強会を行い、身体拘束について理解を深めている。転倒や転落などが事故が起きにくい環境づくりや落ち着かない状態にあるなど対応が困難場合はスタッフが随時応援に入り、ご入居者様一人ひとりに合わせて十分なケアができるようにしている。入口は施錠されているがフロア内やユニット内は行き来できている。	施設内で身体拘束について勉強会を行い、身体拘束について理解を深めている。転倒や転落などが事故が起きにくい環境づくりや落ち着かない状態にあるなど対応が困難場合はスタッフが随時応援に入り、ご入居者様一人ひとりに合わせて十分なケアができるようにしている。入口は施錠されているがフロア内やユニット内は行き来できている。	法人内で年間計画があり動画研修を行っている。ケアカンファレンス時には、身体拘束について本当に必要かどうか話し合いを行う。事業所は2階にあり、エレベーター・非常階段は施錠されているが、ユニット間の行き来は自由に行っている。入り口にはセンサーがありベーターヴェンのピアノ曲「エリーゼのために」のメロディーが流れ、職員が見守りを行っている。状況により各ユニットの職員が随時応援に入り、入居者一人ひとりに合わせ十分なケアができるようにしている。	

R5.6自己・外部評価票 (GHたんたん)

自己	外部	項目	自己評価(うめ)	自己評価(さくら)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	施設内にて虐待防止について勉強会を行い、虐待について理解を深めている。職員が悩みやストレスを抱えないようにユニット内でも話し合い職員同士声を掛け合い行動をチェック行っている。	施設内にて虐待防止について勉強会を行い、虐待について理解を深めている。職員が悩みやストレスを抱えないようにユニット内でも話し合い職員同士声を掛け合い行動をチェック行っている。		
8	(6)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設内で権利擁護について研修行っており、必要なご入居者様が現れた時は速やかに対応できるように努めている。また、成年後見人制度や日常生活自立支援事業の資料なども揃えており、ご家族からの相談時にはいつでも説明できるよう準備している。実際に成年後見人制度を利用されている方もおられる。	施設内で権利擁護について研修行っており、必要なご入居者様が現れた時は速やかに対応できるように努めている。また、成年後見人制度や日常生活自立支援事業の資料なども揃えており、ご家族からの相談時にはいつでも説明できるよう準備している。	権利擁護に関する研修は行っている。身近な具体的な事例もあり制度の理解はできている。成年後見制度・日常生活自立支援事業の資料も備えている。家族からの相談時にはいつでも説明できるように準備しており、管理者が対応している。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結の際は専門用語はできるだけ使わず、ご入居者様やご家族様が理解しやすい説明を行うように心掛けている。不安や疑問が解消するまで十分な説明を行うよう努めている。	契約締結の際は専門用語はできるだけ使わず、ご入居者様やご家族様が理解しやすい説明を行うように心掛けている。不安や疑問が解消するまで十分な説明を行うよう努めている。		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	新型コロナウイルス感染症拡大防止により運営推進会議の開催が出来ていない為、意見を表せる場が減っている。電話で近況などをお伝えしたりする際や、新型コロナ感染症の感染状況をみながら実施している。面会時にはその都度意見や要望についてお尋ねしている。	新型コロナウイルス感染症拡大防止により運営推進会議の開催が出来ていない為、意見を表せる場が減っている。電話で近況などをお伝えしたりする際や、新型コロナ感染症の感染状況をみながら実施している。面会時にはその都度意見や要望についてお尋ねしている。	家族の訪問は予約にて居室で15分程度行ってもらっている。訪問時にその都度、意見・要望などを聞き取る。電話をする機会も多く細やかに、近況を伝えその際にも意見・要望を聞き取るようにしており、それらを運営に反映させている。	運営推進会議の議事録は家族に郵送しているとの事。今後、議事録などと一緒に、事業所内の日常及び誕生日などの写真を送られてみてはどうだろうか。コロナ禍の中、笑顔の写真から事業所内の様子がよりよくわかり、安心されるのではないだろうか。
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者や管理者は定期的に各職員と面談を実施し、意見や要望を聞く機会を設けている。また、ユニット会議時に職員の意見や要望をまとめ、全体会議の中でリーダーが反映に向けての提案をおこなっている。	代表者や管理者は定期的に各職員と面談を実施し、意見や要望を聞く機会を設けている。また、ユニット会議時に職員の意見や要望をまとめ、全体会議の中でリーダーが反映に向けての提案をおこなっている。	第四火曜日にユニット会議をおこなう。利用者の変化をとらえ、ケアに関する事を職員間で共有するようしており、そこでの意見・要望をリーダーがまとめ、全体会議の中で提案し、反映させてもらっている。個人目標もあり、代表者・管理者との個人面談も年1回づつ持っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	日常的に個々の職員とコミュニケーションを図ることで、状況を把握し、家庭事情や職員の体調にも配慮して職場環境や条件の整備に努めている。必要時には個別で面談をするなどして悩みを一緒に考えたり目標をたてたりしている。	日常的に個々の職員とコミュニケーションを図ることで、状況を把握し、家庭事情や職員の体調にも配慮して職場環境や条件の整備に努めている。必要時には個別で面談をするなどして悩みを一緒に考えたり目標をたてたりしている。		
13	(9)	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	面接の際に、性別や年齢等を理由に採用対象から排除することはなく、個々の持つ資格や能力が発揮できるよう配慮している。また、家庭環境や体調面で時間短縮での労働や、希望に応じて定年後の期間延長での労働も出来るよう配慮されている。	面接の際に、性別や年齢等を理由に採用対象から排除することはなく、個々の持つ資格や能力が発揮できるよう配慮している。また、家庭環境や体調面で時間短縮での労働や、希望に応じて定年後の期間延長での労働も出来るよう配慮されている。	休憩時間・場所も確保されている。制服の支給もある。体調など急な時に、時間短縮の相談に乗ってもらう。手先が器用な職員が中心となり飾り物の作製をしたり、体操が得意な職員もおり、その能力を活かし生き生きと勤務している。職員間でも話し合う機会も多く助け合っている。研修・勉強する機会も多く、自己実現にむけ研鑽している。	

R5.6自己・外部評価票 (GHたんたん)

自己	外部	項目	自己評価(うめ)	自己評価(さくら)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14	(10)	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	以前は外部より講師を招き、研修を年1回実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為実施できていない。オンラインにて実施している。情報収集や資料の掲示などは行われている。	以前は外部より講師を招き、研修を年1回実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為実施できていない。オンラインにて実施している。情報収集や資料の掲示などは行われている。	市からビデオなどを借り勉強をしている。情報収集や資料の掲示などは行われており、身近なわかりやすい研修ができています。個人の携帯電話を使用し家族・友人と会話ができるように支援をしている。レクリエーションルームのカーテンの開閉してもらったり、おやつ・食事を一緒に作ったり、できる事に目を向け、個々の能力に合わせ、参加できるように働きかけを行っている。	
15		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	日常的に個々の職員とコミュニケーションを図ることで、各職員の力量や意欲等を把握するよう努めている。外部研修等は新型コロナウイルス感染防止の為参加していない。動画研修を通して各職員学ぶ機会を作っている。	日常的に個々の職員とコミュニケーションを図ることで、各職員の力量や意欲等を把握するよう努めている。外部研修等は新型コロナウイルス感染防止の為参加していない。オンライン研修を通して各職員学ぶ機会を作っている。		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	新型コロナウイルス感染防止の為外部の勉強会、懇談会等への参加、見学等の受け入れは行っていない。必要に応じて電話やファックス、メールなどで外部と情報交換を行っている。	新型コロナウイルス感染防止の為外部の勉強会、懇談会等への参加、見学等の受け入れは行っていない。必要に応じて電話やファックス、メールなどで外部と情報交換を行っている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用契約前に必ずご本人様の所に面談として伺っている。ご本人様から要望や不安等を聞き、入居する事に安心して頂けるよう信頼関係づくりに努めている。	利用契約前に必ずご本人様の所に面談として伺っている。ご本人様から要望や不安等を聞き、入居する事に安心して頂けるよう信頼関係づくりに努めている。		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が安心して利用契約できるように最初の相談から契約に至るまでご家族様自身の不安や要望等受け止めるようにしている。疑問や不安を解消し信頼関係づくりに努めている。	ご家族様が安心して利用契約できるように最初の相談から契約に至るまでご家族様自身の不安や要望等受け止めるようにしている。疑問や不安を解消し信頼関係づくりに努めている。		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居相談の段階で、困りごとや求めているもの等を傾聴し、必要なサービスや入居時期などを踏まえながら、当施設以外の施設の特徴や他のサービスなど色々な選択肢があることも説明している。	入居相談の段階で、困りごとや求めているもの等を傾聴し、必要なサービスや入居時期などを踏まえながら、当施設以外の施設の特徴や他のサービスなど色々な選択肢があることも説明している。		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご入居者様の「できること」に目を向け、個々の能力に合わせて参加できるような働きかけ方やご入居者様の状況に合わせた声かけの仕方等を工夫している。ご入居者様の方から「何か手伝うことない」などと声を掛けられることもありお互い「ありがとう」と伝えあうようにしている。	ご入居者様の「できること」に目を向け、個々の能力に合わせて参加できるような働きかけ方やご入居者様の状況に合わせた声かけの仕方等を工夫している。ご入居者様の方から「何か手伝うことない」などと声を掛けられることもありお互い「ありがとう」と伝えあうようにしている。		
21		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	事故や変化があった時はすぐに連絡し状況説明や今後の支援の仕方について話し合っている。面会方法についても感染症の状況等に応じた対応をしている。	事故や変化があった時はすぐに連絡し状況説明や今後の支援の仕方について話し合っている。面会方法についても感染症の状況等に応じた対応をしている。		

R5.6自己・外部評価票(GHたんたん)

自己	外部	項目	自己評価(うめ)	自己評価(さくら)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	(11)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナウイルス感染防止の為ご家族様も含め、外部の方との接触する機会を減らしている。電話で話して頂いたり、他ユニットに知人がいる時は遊びに行かれていた。地元まつわるTV組を観たり、話題を会話に盛り込むなどして地域に触れることができるように努めている。	新型コロナウイルス感染防止の為ご家族様も含め、外部の方との接触する機会を減らしている。電話で話して頂いたり、他ユニットに知人がいる時は遊びに行かれていた。地元まつわるTV組を観たり、話題を会話に盛り込むなどして地域に触れることができるように努めている。	コロナ禍の中サークルなどに参加することはできないが、ベランダで球根からチューリップを育てたり、トマトの収穫をしたりと趣味の活動を行っている。姪の訪問があったり、県外からの電話の取り次を行っている。他ユニットに知人がいる時は遊びに行かれていた。訪問理美容も継続している。通院介助の帰宅時に、本人の自宅付近を通るなど、大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	居室で過ごす時間も大切にしながら、ご入居者様同士が一緒に時間を過ごすことが出来るように努めている。余暇活動で作った作品を壁に飾ったり、ベランダにプランターで栽培を行い、日々のコミュニケーションにも役立てている。また職員が間に入り、他入居者様と楽しい関わりが持てるように支援をしている。	居室で過ごす時間も大切にしながら、ご入居者様同士が一緒に時間を過ごすことが出来るように努めている。余暇活動で作った作品を壁に飾ったり、ベランダにプランターで栽培を行い、日々のコミュニケーションにも役立てている。また職員が間に入り、他入居者様と楽しい関わりが持てるように支援をしている。		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	同法人の特養への入所後も様子を伺ったり、特養職員より対応方法などを尋ねられた時にはお伝えするなど情報交換をおこなっている。ご家族様に対しても、退去時などにいつでも相談にきていただくようお願いしている。	同法人の特養への入所後も様子を伺ったり、特養職員より対応方法などを尋ねられた時にはお伝えするなど情報交換をおこなっている。ご家族様に対しても、退去時などにいつでも相談にきていただくようお願いしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
25	(12)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話の中でご入居者様の意向や要望を聞き取り、情報の共有を行っている。ひとときシートを使い、ご入居者様の状況を把握、理解し、ご入居者様にとって統一したより良い支援につなげている。	日常の会話の中でご入居者様の意向や要望を聞き取り、情報の共有を行っている。ひとときシートを使い、ご入居者様の状況を把握、理解し、ご入居者様にとって統一したより良い支援につなげている。	入居時は本人宅・施設・病院などを管理者が訪問。本人・家族からこれまでの生活歴・暮らし方・要望などを聞き取る。施設・病院などから情報もらい、ケアマネジャーが1か月程の初期プランを立てる。情報は全員で共有する。毎日の暮らしの中でゆくりと話を傾聴し、意向の把握に努めている。うまく言葉に表せない利用者に対しては表情・行動・何気ない言葉から思いをくみ取り、本人本位に検討している。	
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常の会話の中から何気ない一言を聞きもらさず、ご家族様へ確認するなどし、ご本人様の生活歴や暮らし方へのこだわり、思いをより深く把握できるように努めている。特に新しいご入居者様の言葉や行動から全職員でその人の情報を得るように努めている。	日常の会話の中から何気ない一言を聞きもらさず、ご家族様へ確認するなどし、ご本人様の生活歴や暮らし方へのこだわり、思いをより深く把握できるように努めている。特に新しいご入居者様の言葉や行動から全職員でその人の情報を得るように努めている。		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中での気付き等を職員間で共有している。また、ケアカンファレンスでその方に合った支援方法を検討したり、職員間で共有するなどしている。「出来る事」に着目しご入居者様が力を発揮できる活動を提供できるように努めている。	日常生活の中での気付き等を職員間で共有している。また、ケアカンファレンスでその方に合った支援方法を検討したり、職員間で共有するなどしている。「出来る事」に着目しご入居者様が力を発揮できる活動を提供できるように努めている。		
28	(13)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	会議でモニタリングやアセスメントの状況について意見を出し合い、次期介護計画に反映している。状態変化があれば期日を待たずに変更している。	会議でモニタリングやアセスメントの状況について意見を出し合い、次期介護計画に反映している。状態変化があれば期日を待たずに変更している。	職員は利用者2~3名を担当している。全員でカンファレンスを行い、意見を出し合い課題、問題点を見つけ出す。モニタリングにて変化を見逃さず見直しを行う。本人・家族から意見・要望を聞き取り、医師・看護師から意見もらい担当者会議に反映させている。介護計画とケア実施記録は紐づいており、現状に即した介護計画を作成している。	

R5.6自己・外部評価票 (GHたんたん)

自己	外部	項目	自己評価(うめ)	自己評価(さくら)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	本人の思いや状況が伝わるような記録を心がけている。また記録等の言葉の受け取り方等の意見をその都度、職員間で伝え合うことを行っている。入力内容の充実が今後の課題である。	本人の思いや状況が伝わるような記録を心がけている。また記録等の言葉の受け取り方等の意見をその都度、職員間で伝え合うことを行っている。入力内容の充実が今後の課題である。		
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	新型コロナウイルス拡大防止の為にサービスが中断された時期もあるが、ニーズに合わせて訪問歯科、訪問理美容、福祉用具購入など柔軟な支援に取り組んでいる。	新型コロナウイルス拡大防止の為にサービスが中断された時期もあるが、ニーズに合わせて訪問歯科、訪問理美容、福祉用具購入など柔軟な支援に取り組んでいる。		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、地域行事の中止や、外出等も制限されるなど外に出る機会ができなかったが、図書館で紙芝居を借りてきたり、ビデオ上映など屋内での暮らしを楽しめるよう工夫している。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に、地域行事の中止や、外出等も制限されるなど外に出る機会ができなかったが、図書館で紙芝居を借りてきたり、ビデオ上映など屋内での暮らしを楽しめるよう工夫している。		
32	(14)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診時に日常の様子を報告し、かかりつけ医とも円滑なコミュニケーションがとれるよう努めている。	受診時に日常の様子を報告し、かかりつけ医とも円滑なコミュニケーションがとれるよう努めている。	面談の時に以前からのかかりつけ医の継続ができることを説明している。同敷地内にクリニックがあり、第一・第三水曜日に医師が訪問されている。日常の体調管理や生活面のアドバイスをもらっている。他科受診は家族又は職員が対応している。月1回歯科の定期訪問がある。看護師が常勤しており、緊急時の対応ができる。	
33		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	普段からご入居者様の健康状態を観察し、いつもと違う様子や疑問、不安等があれば看護師に相談している。体調が不安定なご入居者様は看護師が確認行った上で必要に応じて受診している。受診の結果や薬の変更等は申し送りを徹底している。	普段からご入居者様の健康状態を観察し、いつもと違う様子や疑問、不安等があれば看護師に相談している。体調が不安定なご入居者様は看護師が確認行った上で必要に応じて受診している。受診の結果や薬の変更等は申し送りを徹底している。		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院があった場合には定期的に病院と連絡を取り合い情報交換を行っている。救急搬送を行う際に職員同行し情報を伝えるなど迅速な対応を行っている。	入院があった場合には定期的に病院と連絡を取り合い情報交換を行っている。救急搬送を行う際に職員同行し情報を伝えるなど迅速な対応を行っている。		
35	(15)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用契約時にご利用者様・ご家族様の意向を確認している。また、状態変化がみられる度にその都度ご本人様・ご家族様の意向を確認している。事業所での対応の限界もお話しし、どこで終末期を迎える事が良いのかをご家族と相談している。重度化や終末期の対応に向けて看護師配置をおこない、施設内での研修等の実施も行っている。受け入れの準備は行っているが、現在までに終末期を迎えられた方はおられない。	利用契約時にご利用者様・ご家族様の意向を確認している。また、状態変化がみられる度にその都度ご本人様・ご家族様の意向を確認している。事業所での対応の限界もお話しし、どこで終末期を迎える事が良いのかをご家族と相談している。重度化や終末期の対応に向けて看護師配置をおこない、施設内での研修等の実施も行っている。受け入れの準備は行っているが、現在までに終末期を迎えられた方はおられない。	契約時に利用者、家族の意向を確認する。状態の変化がみられる度にその都度ご本人・ご家族の意向の確認を行なっている。事業所での対応の限界もお話ししている。看護師も常勤しており、法人全体で研修を実施、受け入れ準備は行っている。緊急時の対応マニュアルを作成している。同敷地内にクリニックがあり看護師を通じ緊急時には、すぐに医師に相談し指示を仰ぐ。夜間のオンコール体制も整えている。	

R5.6自己・外部評価票(GHたんたん)

自己	外部	項目	自己評価(うめ)	自己評価(さくら)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルを作成し、法人内で定期的な研修も実施している。同敷地内にクリニックがあり、看護師を通じ緊急時にはすぐにかかりつけ医へ相談し、指示を仰いでいる。夜間の看護師へのオンコール体制も整えている。AEDも設置している。	緊急時の対応マニュアルを作成し、法人内で定期的な研修も実施している。同敷地内にクリニックがあり、看護師を通じ緊急時にはすぐにかかりつけ医へ相談し、指示を仰いでいる。夜間の看護師へのオンコール体制も整えている。AEDも設置している。		
37	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行っている。日頃より廊下には物を置かず安全な避難経路の確保に努めている。地域の方に災害時の協力体制についての協定を結んでいただいている。災害時に備え備蓄の物資は定期的に入れ替えを行い、備えている。	定期的に避難訓練を行っている。日頃より廊下には物を置かず安全な避難経路の確保に努めている。地域の方に災害時の協力体制についての協定を結んでいただいている。災害時に備え備蓄の物資は定期的に入れ替えを行い、備えている。	年2回火災訓練・年1回水害訓練を行っている。夜間想定を1回行っている。年1回は消防署からの立ち会いがある。法人内に防火管理者がいる。訓練の際に地域の方の参加はないが災害時の協力体制についての協定を結んでもらっている。災害時に備え、備蓄の準備も行っている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
38	(17)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	会議や研修等で言葉遣いや声のかけ方、関わり方等について話し合い、常に尊厳を意識した支援に努めている。日々の関わりの中でも声のかけ方や関わり方が適切かどうか職員同士で声かけ合うように努めている。	会議や研修等で言葉遣いや声のかけ方、関わり方等について話し合い、常に尊厳を意識した支援に努めている。日々の関わりの中でも声のかけ方や関わり方が適切かどうか職員同士で声かけ合うように努めている。	接遇・マナーなどの動画研修を行っている。会議や研修で話し合い、一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけを意識している。トイレや入浴時の声かけにも心配りをしている。日々の関わりの中で、職員同士で声かけ、注意をしながら支援に努めている。	
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の会話の中で、思いや希望を尋ねたり、自己決定しやすいよう声かけを工夫している。本人が話しやすい環境や話をしっかりと聞く時間を作ったり自己表現が難しい人に対しては、表情や行動、日常の反応などから思いを読み取る工夫をしている。	日頃の会話の中で、思いや希望を尋ねたり、自己決定しやすいよう声かけを工夫している。本人が話しやすい環境や話をしっかりと聞く時間を作ったり自己表現が難しい人に対しては、表情や行動、日常の反応などから思いを読み取る工夫をしている。		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大体の1日の流れはあるが、レクリエーションや体操等にもお誘いするが参加は自由で、一人ひとりの希望を極力優先している。ご入居者が自分のペースで余暇活動や家事手伝いができるようにしている。	大体の1日の流れはあるが、レクリエーションや体操等にもお誘いするが参加は自由で、一人ひとりの希望を極力優先している。ご入居者が自分のペースで余暇活動や家事手伝いができるようにしている。		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	パーマや髪染めなど訪問理美容時には、ご本人様の希望を確認しながら伝えている。入浴時の衣類などは準備段階でご利用者と一緒に選んだりしている。ご利用者様より依頼のあった化粧品や保湿剤などの購入をご家族へ準備していただいている。	パーマや髪染めなど訪問理美容時には、ご本人様の希望を確認しながら伝えている。入浴時の衣類などは準備段階でご利用者と一緒に選んだりしている。ご利用者様より依頼のあった化粧品や保湿剤などの購入をご家族へ準備していただいている。		
42	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常の会話の中で出された食への意向や要望を行事や誕生日の際に取り入れるようにしている。おやつや食事を作る際は一緒に作り準備や片付けも一緒に行っている。	日常の会話の中で出された食への意向や要望を行事や誕生日の際に取り入れるようにしている。おやつや食事を作る際は一緒に作り準備や片付けも一緒に行っている。	食材の購入は法人で行っており、法人の厨房で調理している。管理栄養士による彩の良い栄養バランスの取れた食事が用意されている。誕生日には豪華なお弁当が用意される。本人の希望で卵料理のリクエストがあり、オムレツを作った。食事レクでは利用者・職員と一緒に好み焼きを作り、楽しい時間が持った。一階のカフェテリアで持参したおやつでコーヒートを堪能している。	

R5.6自己・外部評価票( GHたんたん)

自己	外部	項目	自己評価(うめ)	自己評価(さくら)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量、体重の推移を把握し必要な時には家族に依頼し栄養補助商品や嗜好品を活用している。管理栄養士によりカロリー計算された食事を毎食提供している。	食事、水分量、体重の推移を把握し必要な時には家族に依頼し栄養補助商品や嗜好品を活用している。管理栄養士によりカロリー計算された食事を毎食提供している。		
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に合った口腔ケア物品をご家族様に準備して頂き、使用している。その方の状態に合わせて声かけや介助を行っている。訪問歯科診療時にケアの仕方についての助言を受けたりしている。口腔体操や歌等を行い嚥下がスムーズにできるよう工夫している。	個々に合った口腔ケア物品をご家族様に準備して頂き、使用している。その方の状態に合わせて声かけや介助を行っている。訪問歯科診療時にケアの仕方についての助言を受けたりしている。口腔体操や歌等を行い嚥下がスムーズにできるよう工夫している。		
45	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	チェック表で排泄パターンを把握し、できるだけトイレで排泄して頂くよう支援している。介助が必要な方にはさりげなく声かけやトイレ誘導を行っている。排泄状況や能力に応じた下着や紙パンツ、パッド等の種類を検討している。夜間オムツ対応のご利用者様も、日中はトイレでの排泄ができるよう声かけ・誘導などを実施している。	チェック表で排泄パターンを把握し、できるだけトイレで排泄して頂くよう支援している。介助が必要な方にはさりげなく声かけやトイレ誘導を行っている。排泄状況や能力に応じた下着や紙パンツ、パッド等の種類を検討している。夜間オムツ対応のご利用者様も、日中はトイレでの排泄ができるよう声かけ・誘導などを実施している。	排泄チェック表で排泄のパターンを把握し、本人のベースに合わせてトイレに誘導する。逐一状況を話し合い、布パンツ・リハビリパンツ・パッドの種類などを検討する。排便に関しても体操を行ったり、水分量・食べ物などにも注意している。排泄が自立の方も少し時間がかかっている時は、さりげなく声かけをしてみる。夜間おむつ対応の方も、日中はトイレでの排泄ができるよう声かけ・誘導などを実施している。	
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	かかりつけ医と相談し排便の状況に合わせて必要に応じて下剤を服用するなど調整を行っている。運動や水分量を増やしたり排便を促す食材、オリゴ糖やきな粉を使用できるだけ自然な排便を促している。	かかりつけ医と相談し排便の状況に合わせて必要に応じて下剤を服用するなど調整を行っている。運動や水分量を増やしたり排便を促す食材、オリゴ糖やきな粉を使用できるだけ自然な排便を促している。		
47	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日を決めて入浴を行っている。ゆっくりリラックスして入浴できる様に環境を整えている。体調不良時はシャワー浴や清拭の対応をしている。拒否のある方には、声かけの内容を工夫したり、時間や日にちを変えて声かけをしている。ご入居者様が気持ちよく入浴できるよう、職員間で意見や情報の交換を行っている。	曜日を決めて入浴を行っている。ゆっくりリラックスして入浴できる様に環境を整えている。体調不良時はシャワー浴や清拭の対応をしている。拒否のある方には、声かけの内容を工夫したり、時間や日にちを変えて声かけをしている。ご入居者様が気持ちよく入浴できるよう、職員間で意見や情報の交換を行っている。	週2回個浴で、ゆっくりと入浴できるように環境を整えている。入浴拒否のある時は、時間を置いたり、声かけの内容を工夫する。入浴時には皮膚観察を行いじょくそう予防に注意し、異常時には、医師・看護師に報告、相談をしている。大切なコミュニケーションの場としても大事にしている。	
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の好みの明暗や室温調整等に配慮して入眠や休息しやすい環境づくりに努めている。日中も体調等に配慮し必要に応じて居室で休まれている。浮腫のあるご入居者様に対しては浮腫軽減の為に両足を挙上するなど声かけをしている。	個々の好みの明暗や室温調整等に配慮して入眠や休息しやすい環境づくりに努めている。日中も体調等に配慮し必要に応じて居室で休まれている。浮腫のあるご入居者様に対しては浮腫軽減の為に両足を挙上するなど声かけをしている。		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用している薬や効能等をいつでも確認できるように個別にファイリングしている。疑問点などは看護師や薬剤師に相談・指導していただいている。内服調整等医師との連携は看護師が中心に行っている。薬が変更があった場合は職員間で共有している。	服用している薬や効能等をいつでも確認できるように個別にファイリングしている。疑問点などは看護師や薬剤師に相談・指導していただいている。内服調整等医師との連携は看護師が中心に行っている。薬が変更があった場合は職員間で共有している。		
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	事前に確認している生活歴や趣味などを中心に、掃除や食器洗い、洗濯物たたみなど出来る事を探してお願いしている。また、塗り絵や脳トレなど能力に応じた活動が出来るよう材料を準備・提供している。	事前に確認している生活歴や趣味などを中心に、掃除や食器洗い、洗濯物たたみなど出来る事を探してお願いしている。また、塗り絵や脳トレなど能力に応じた活動が出来るよう材料を準備・提供している。		

R5.6自己・外部評価票 (GHたんたん)

自己	外部	項目	自己評価(うめ)	自己評価(さくら)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51	(21)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、外出することが難しかった。できる限り季節を感じられるよう施設近くの川沿いの散歩やウッドデッキ・屋上で過ごされ楽しめるよう支援している。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、外出することが難しかった。できる限り季節を感じられるよう施設近くの川沿いの散歩やウッドデッキ・屋上で過ごされ楽しめるよう支援している。	コロナ禍の中、外出することが難しかったが、宝満川沿いの散歩、ウッドデッキから見た大きな桜並木を觀賞した。近隣の「美咲公園」「隣保館」の桜を見に行った。法事のため家族と外出された方もいる。1階のカフェテリアでコーヒを楽しんだり、ウッドデッキから雄大な景色を楽しんでいる。宝満川で行われるカヌー大会には、今年は職員が出席する予定。	
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持は現在行っていない。買物外出や食事外出は行っていない。必要な物に関しては家族にお願いしている。	お金の所持は現在行っていない。買物外出や食事外出は行っていない。必要な物に関しては家族にお願いしている。		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご入居者様によっては個人の携帯電話を使用してご家族様や友人と会話できるように充電の確認や操作方法を介助するなど支援を行っている。施設に電話があった際もご本人様に変更話しをもらう。手紙もご本人様に渡して読まれている。	ご入居者様によっては個人の携帯電話を使用してご家族様や友人と会話できるように充電の確認や操作方法を介助するなど支援を行っている。施設に電話があった際もご本人様に変更話しをもらう。手紙もご本人様に渡して読まれている。		
54	(22)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室温はこまめに確認してエアコンの調整等をしている。一緒に作った壁飾りを廊下や居室入口に展示して見て楽しめるようにしている。リビングではテレビを観たり、音楽を聞いたり、本や新聞を読んだりできるなど過ごしやすい環境作りに努めている。	室温はこまめに確認してエアコンの調整等をしている。一緒に作った壁飾りを廊下や居室入口に展示して見て楽しめるようにしている。リビングではテレビを観たり、音楽を聞いたり、本や新聞を読んだりできるなど過ごしやすい環境作りに努めている。	リビングの大きな窓からは明るい日差しが差し込み、眼下には宝満川の穏やかな風情が映り、反対の窓からは緑の畑が広がり山並みが見える。穏やかな時が流れ、午後のひとときをそれぞれ楽しんだり、プレゼントのマフラーを編んでいた方もいる。ユニット間は周り廊下で要所にイスが置かれ一回りできる。リビングには手作りの日めくりカレンダーがあり、その日の天候も分かる。利用者と一緒に作製した紫陽花が、ひときわあでやかさを添えている。	
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロア内のレクリエーションルームもソファが置かれ、一人の時間やご入居者様同士談笑されたりしている。ソファに座り外の景色を眺められたり、自由に散歩できる空間となっている。	フロア内のレクリエーションルームもソファが置かれ、一人の時間やご入居者様同士談笑されたりしている。ソファに座り外の景色を眺められたり、自由に散歩できる空間となっている。		
56	(23)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真や自宅から持ってきたなみじの物を使用して安心して過ごせる居心地の良い居室づくりを努めている。安全に配慮した居室づくりや環境づくりにも力を入れている。ご入居者様の状況に合わせた収納方法を工夫している。必要な物があればご家族様に依頼をしている。	家族の写真や自宅から持ってきたなみじの物を使用して安心して過ごせる居心地の良い居室づくりを努めている。安全に配慮した居室づくりや環境づくりにも力を入れている。ご入居者様の状況に合わせた収納方法を工夫している。必要な物があればご家族様に依頼をしている。以前は仏壇やお位牌を持って来られた方もある。	ベッド・エアコン・カーテンは備え付けてある。洗面台は各居室内にある。居室の入口は広く、手作りの貼り絵の愛らしい表札が掲げられている。居室ではカセットテープで自分の好きな音楽や学生時代作詞した音楽などを聴いている。使い慣れた趣のある家具・家族の写真などに囲まれ安心して過ごせる居心地の良い部屋作りを行っている。	
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	記録や会議等で情報収集し、安全で自立した生活が送れることができるように環境整備に努めている。移動の際に危険がないように廊下や共有スペースの物の置き場等に配慮している。またご入居者様の状態の変化に応じた環境整備を行っている。危険予測について学び安全な環境づくりや支援に努めている。	記録や会議等で情報収集し、安全で自立した生活が送れることができるように環境整備に努めている。移動の際に危険がないように廊下や共有スペースの物の置き場等に配慮している。またご入居者様の状態の変化に応じた環境整備を行っている。危険予測について学び安全な環境づくりや支援に努めている。		